



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 24 年 11 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



「きのこ祭り」撮影日：平成 24 年 10 月 14 日（日）

9月議会の内容

- 一般質問 P 2 - 4
- 特別委員会 P 5
- 議案質疑 P 6
- 常任委員会レポート P 7

平成 24 年第 3 回能登町議会定例会は、9 月 6 日から 14 日までの 9 日間の日程で開催されました。6 日は、議案 12 件、諮問 2 件、認定 13 件の上程後、先議された諮問 2 件は原案のとおり適任とされました。その後、議案質疑を経て議案 12 件は各常任委員会へ付託されました。続いて、認定 13 件についての質疑の後、設置された決算特別委員会に付託されました。11 日、12 日は町政一般質問が行なわれ、12 日の同質問の後、追加提出された「請願取り下げの件」が許可されました。14 日には、議案 12 件の採決が行われ原案のとおり可決されました。その後、追加提出された議案 2 件は、全体審議とし原案のとおり可決されました。続いて、議会議案として、「事務検査に関する決議」、「庁舎等の在り方検討特別委員会の設置に関する決議」が提出され、それぞれ可決されました。

※設置された特別委員会の構成委員については 5 ページに掲載しています。

第30号

いっぱん質問



市濱等 議員

問 海辺の魚介類を自由に
取り食すことは出来ないか

里海、世界農業遺産に
登録された能登町。海岸
線、海辺、水辺の利用の
あり方について問う。

漁業者の糧はもちろん
犯すことは出来ないが、
海辺に生活する住民もわ
だかまり無く自然に触れ
魚介類を食す環境が出来
ないか。また、魚介類の
美味しさを知ることが、
今後の水産業の発展に繋
がるのではないか。



ヒラメを放流する園児たち

答 水産業の振興、地域振興の
ため何らかの方向性を探りたい

町長 放流事業にかかる
稚魚購入費の50%を補助
している。もっと今後も
努力したい。環境づくり
は十分理解できる。何ら
かの形で良い方向に向か
えばと思う。



鶴野幸一郎 議員

問 恋路海岸を公営海
水浴場としてアピール

能登が世界遺産に登録
されたことによって、里
山里海の魅力が改めて見
直されている。来年4月
からの能登有料道路の無
料化に伴い、奥能登ブー
ムの再来も有りうるが、
里山に比べて里海の取組
が弱いのではないか。特
に恋路海岸で海水浴が出
来ないのは問題であり、
公営海水浴場として整備
すれば経済効果が大いに
高まるのではないか。

答 地域の方々の協力が
あれば前向きに検討する

町長 恋路海岸は貴重な
観光資源でもあり、清掃
作業などにおいて地域の

協力を得られるなら前向
きに検討させて頂く。



恋路海岸の海岸清掃ボランティア

問 水道有収率50%台は異
常であり、行政の怠慢では

寺田川ダムが枯渇する
ことは想定外だったか。
7月初旬頃にすでにダ
ムの水が少なかったと認
識していたと言うが、そ
の段階でどんな手を打っ
べきだったか。

矢波浄水場の配水エリ
アの有収率が特に低いこ
とはいつ頃から認識して

いたのか。なぜ手を打っ
てこなかったのか。
今後とるべき渇水対策
を問う。

答 寺田川ダムの渇水は
想定外であった

町長 寺田川ダムの渇水
は想定外であった。

早期段階で伏流水など
の状況を十分把握して放
流量の調節をすべきで
あったと考えている。

有収率は旧能都町は約
51%、旧柳田村は約67%、
旧内浦町は78%である。
水道未普及地域解消事
業を優先し、老朽管更新
事業が遅れた。

【有収率とは】

浄水場から配水した水道水のうち、
料金の対象となった水道水の割合で、
数値が高いほどよいとされる。



志幸松栄 議員

問 現在の能登町について

町の景気は。文化交流イベントの状況は。小中学校の教育について問う。

答 町の景気回復のため企業等にサポート

町長 町の景気は、雇用状況が厳しい状況であり、町の景気回復のため企業・雇用者をサポートしている。また、イベントを通して町を広くPRしていきたい。

教育長 次代を担う子供達に対し能登の地と人を通して未来を開くたくましい人づくりを基本理念に町として責任を持った教育行政を実施していきたいと考えている。



宮田勝三 議員

問 行政改革大綱における実施状況を問う

24年度より実施予定のコンビニエンスストアやクレジットカードでの使用料等の納付や町ケーブルテレビの運営見直しの進捗状況は。

また、多くの遊休施設についても早急に検証し後世に作業を残すべきではないと思われるが。



遊休町有施設
(総務常任委員会管内視察にて撮影)

答 今年度より実施予定の件についても再検討する

町長 ケーブルテレビ運営については、今一度、委託も含め検討したい。老朽化した施設については、解体し土地の売却を含め考えたいと思っている。

※コンビニエンスストアやクレジットカードでの納付についての答弁なし



奥成壮三郎 議員

問 交流人口の拡大

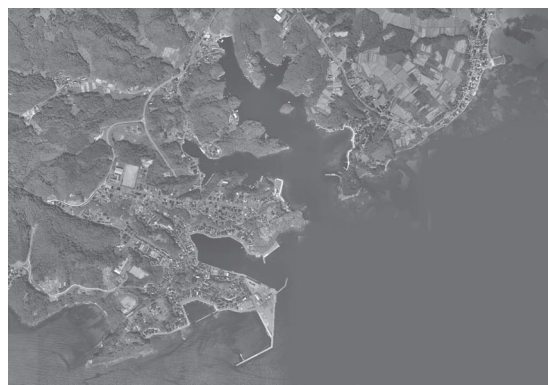
世界農業遺産に認定以来、七尾市と佐渡市がトキを通じ交流をし、珠洲市と佐渡市は小学生などの人的交流や災害協定、姉妹都市締結を結んだ。

能登町小木と佐渡市小木港とは言い伝えも多くあるが、今後の佐渡市との交流は。

答 能登の里山里海の周知活動を行なう

町長 小木の公民館長が佐渡市小木へ行くと聞いた。付き合いを伸ばして欲しい。

宮地地区には「春蘭の里」、柳田地区には「中世の町野荘」など文化遺産がある。里山里海の貴重な資源として活用する。



言い伝えに残る佐渡の小木との交流
(写真は小木地区の航空写真)



山岸昭夫 議員

問 町としての渇水対策を示せ

本年は例年になく少雨で、旧能都町管内の水道の水源となる寺田川ダムの貯水量が底をついた。公共施設等の利用を休止するほか、町民に節水を呼びかける事態となったが、町ではどのような渇水対策を実施したのか。

答 渇水対策マニュアルを策定する

町長 町民の皆様は節水の協力をいただいたこと等により最悪の事態を避けることができた。ミキサー車による水の運搬、山田川からの仮設配管による送水など実施した。今後は渇水対策マニュアルを策定していく。

問 北河内ダムから直接配水を念頭に抜本的解決を望む

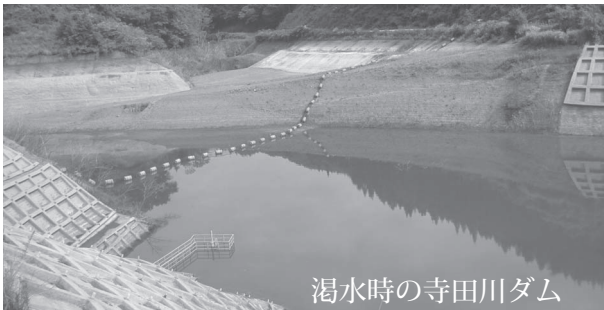
柳田地区の簡易水道と上水道を連結するなど融通は出来るのか。また、旧能都町、旧内浦町、旧柳田村の有収率を問う。

答 有収率を上げることにより重きをおきたい

上下水道課長 簡易水道と上水道の融通について現状では、簡易水道の管と上水道の管を繋ぐ場合は、管の口径が小さいことや水压不足の問題がある。送水管を新規に布設となると距離も長く配水地整備など経費が多額になる。また、ダム使用にかかる県の協定書の見直しや水利権の問題などがあり難しいと考えている。

有収率は、能都地区は約51%、内浦地区78%、柳田地区約67%である。

町長 まずは能都地区の老朽管を更新し、有収率の向上に努めたい。



渇水時の寺田川ダム



渇水対策（仮設配管敷設）



酒元法子 議員

問 再生可能エネルギーの推進について

当町における再生可能エネルギー発電施設計画の有無と再生可能エネルギーの推進に対する取組について問う。

答 地域資源を生かすなど積極的に取組む

町長 現在、町としては再生可能エネルギー施設の事業化計画はない。

町としての取組は、平成21年度に能登町バイオマス構想を策定。木質ペレットやバイオマス資源等の利活用を推進していくこととしている。

また、今年度、県が行なう農山漁村再生可能エネルギー導入可能性調査のデータを参考にし、



小木中学校津波防災訓練

町民の知識等を取り入れ地域資源を活かした取組や企業参入によるメガソーラー発電の建設計画などがあれば積極的に取組んでいきたい。

問 ソフト及びハードを含めた危機管理体制の整備

渇水や災害対応の危機管理体制を問う。

答 能登町としての総合的な防災力向上を目指す

町長 寺田川ダムの渇水については、今後、検証

し上下水道課で渇水対策マニュアルを作成する。災害時においては、生命を最優先にし対策をマニュアル化していくことが重要と考えている。

渇水時においては原水の確保、あるいは病院等などへの給水手配等や断水による影響範囲の把握など、日頃より状況判断が必要である。地域防災計画の更新や備蓄体制の強化など常に対策と備えを行なっていくが、町民の皆様やボランティアへの協力もお願いして能登町としての総合的な防災力向上を目指したい。

その他質問者
向峠 茂人 議員

平成24年9月定例会において2つの特別委員会を設置

『決算特別委員会設置』

●設置の目的

議会が決定した予算が適正に執行されたか。また、執行した結果どのような成果を挙げたかなど行政効果や経済効果等を測定し、後年度の予算編成や行財政運営について生かされることを目的に、各常任委員会から委員2名を選出し設置する。

●選出された委員

委員長 奥成 壮三郎
副委員長 金七 祐太郎
委員 國盛 孝昭

市濱 等
小路 政敏
酒元 法子

●付託された認定13件

平成23年度一般会計歳入歳出決算
平成23年度有線放送特別会計歳入歳出決算
平成23年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算
平成23年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
平成23年度介護保険特別会計歳入歳出決算
平成23年度観光施設特別会計歳入歳出決算
平成23年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度簡易水道特別会計歳入歳出決算
平成23年度水道事業会計決算
平成23年度病院事業会計決算

『庁舎等の在り方検討 特別委員会設置』

●設置の目的

平成24年第1回定例会後に議事堂の位置を検討事項とした「議会庁舎の在り方についての懇話会」が設置され、その方向性と結論が8月議長に報告された。その報告書の中で、「議会としても合併協定書を尊重し、新総合庁舎や関連施設の建設も含めた全庁舎等の在り方を総合的に検討するため特別委員会を設置し、すみやかに検討に入ること」等が進言された。また、平成16年8月に旧3町村で合意した合併協定書では、「事務所の位置について当面の間、旧能都町役場とし、分庁方式での運用とともに、平成27年度を目途に新総合庁舎建設について選定委員会を設置して協議する」と触れられている。平成17年3月の合併より能登町として8年目を迎え、今後の能登町の庁舎等のあるべき姿について、議会として社会資本整備や住民ニーズに対応した一定の方向性を示したうえ、効率的な運用を図るための調査検討するため特別委員会を設置する。

●調査検討期限

平成26年6月定例会まで

●選出された委員

委員長 向峠 茂人
副委員長 金七 祐太郎
委員 國盛 孝昭

市濱 等
酒元 法子
河田 信彰
南 正晴
奥成 壮三郎
鍛冶谷 眞一



議案をチェック

宮田 勝三 議員

真脇ホーレホーレの温泉建設に地盤調査が計上されているが説明を求めらる。

宮 ふるさと振興課長

今年度の当初予算で設計費を盛っていたが、地盤の調査が漏れていたため補正予算で計上した。

宮田 勝三 議員

竣工式を終えた能都中学校の体育館が、体育施設条例の一部改正により、「能登町能都第2体育館」となるようだが、これについて説明せよ。

教育委員会事務局長

旧宇出津高校の第2体育館を、地域の方も利用できる「地域体育館」として県から譲渡を受けることで建設費を抑えることができた。ただし屋内運動場としての必要面積の上から、能都中の利用が主体となる。

向峠 茂人 議員

住宅太陽光発電システムの設置補助について、補正内容と昨年度の実績を示せ。併せて「自然エネルギー」の能登町づくり」を提案するが、執行部の見解を問う。

環境対策課長

今回の追加件数は15件。上限20万円で300万円の追加補正を計上。これまでの実績は昨年度までに40件。今年度は当初予算で10件。これに15件を加えれば全部で65件となる。

町長

自治体としてメガソーラーに取組むのは難しいと思うが、民間が取組むなら協力したい。

山岸 昭夫 議員

柳田地区告知設備設置工事の請負額に700万円の増額の理由は。

広報情報推進課長

内浦、能都、柳田の各

エリアの情報通信整備の総仕上げとして通信機器の統一、そしてこれによる送受信のスピードアップを図る機器構成の変更等で補正予算を計上した。

新平 悠紀夫 議員

渇水対策費2500万円が計上されているが、マスコミにも連日報道されるほどの状況に至った経緯と、併せてこれからの対策について質す。

上下水道課長

最初に町民の皆様と関係各位にご迷惑とご心配をお掛けしたことをお詫びいたします。

経緯・理由としては5月、6月の少雨で例年に

比べて貯水量が低かったダムからの放流量を減らすと取水する矢波浄水場の取水口での水位が低下し浄水場機能がストップすることがあり、断水を避け

るため一定量の放水を続けたことが経緯と理由と考える。今後は渇水マニユアル等作成するとともに、取水口の整備も実施したい。

総務課長

8月22日に貯水量が、5万4000トンで危機的状況にあり、8月24日「渇水対策本部」を設置。ミキサー車で山田川から原水運ぶなどの

対処策を講ずるが絶対量が不足するため山田川からの仮設送水管設置を検討。9月4日送水管を布設しフル稼働で1日あたり2000トンを確認するとともに町民の皆様の節水協力で断水を回避している。

新平 悠紀夫 議員

農山漁村活性化プロジェクト支援事業について説明せよ。

農林水産課長

委託料は水源、地形、地質の調査と実施設計管

路についての経費。具体的には鮭尾地区の営農飲雑用水を確保する事業費を計上。

鍛冶谷 眞一 議員

まちづくり交付金事業において工事請負額が減額となり、設計業務及び調査費等に組み替えになっているがこの事業について説明せよ。

建設課長

宇出津地区の都市再生整備計画の変更により、新たに公民館機能を有する地域交流センターを観光交流センターに併設することになったため、設計費を増額。また、地盤調査費を計上した。

鶴野 幸一郎 議員

渇水対策に際しての経費を一般会計から支出しているが水道会計で対応すべきではなかったのか。もしくは災害費として計上すべきではなかったのか。金額が大きいので企業会計で対応出来ない時はこのようにするのか。

副町長企画財政課長 今回渇水ということで災害的な要素があり企業会計で負担するには、荷が重すぎるので、一般会計から補填する形で計上した。

志幸 松栄 議員

能登町は宮崎県の旧野尻町、現小林市と継続して姉妹提携する。また、千葉県流山市とも姉妹提携しているが、海上関係漁業関係との姉妹提携を提言する。

町長

あくまでも相手があることなので相手先が見つかるかは分らないが、交流拡大のためにもそういうことも今後進めて行きたい。

総務

委員会

向峠茂人（委員長）

國盛孝昭（副委員長）

椿原安弘・奥成壮三郎

宮田勝三・鍛冶谷眞一

誘客イベントについても考える。

●ハザードマップ

津波避難誘導看板や海拔表示についての進捗は。また、道路の確保や無線の整備は。

〔密〕ハザードマップ等については4つの地震の最大値を想定して対応する。

9月6日に委員会を開催し付託された議案5件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

また、その他案件としてデマンド交通、乗り合いタクシーについても協議した。

●能登空港利用促進

〔問〕搭乗率達成のための当町の割り当て等は。

〔答〕宝達志水町以北9市町で年間2万8000席を確保することが必要で、当町には4438席が割り当てられている。冬場の搭乗率が落ち込むので、丹蔵関の初場所応援ツアーなどの計画を考えている。また、関東からの

教育民生

委員会

南 正晴（委員長）

市濱 等（副委員長）

金七祐太郎・久田良平

新平悠紀夫・大谷内義一

9月6日・11日に委員会を開催し付託された議案4件を審議。議案については、全会一致で可決すべきものと決定した。

継続審査となっていた請願第3号「文化施設の建設について」は請願者から取り下げの申し出がなされた。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

〔問〕いきいき介護予防教室事業についてその対象者は。また、補正の理由及びその内容は。

〔答〕介護認定されない方でデイスサービス利用者を対象としている。当初は昨年度の実績で積算したが、事業が浸透している

〔問〕いきいき介護予防教室事業についてその対象者は。また、補正の理由及びその内容は。

〔答〕介護認定されない方でデイスサービス利用者を対象としている。当初は昨年度の実績で積算したが、事業が浸透している

〔問〕いきいき介護予防教室事業についてその対象者は。また、補正の理由及びその内容は。

〔答〕介護認定されない方でデイスサービス利用者を対象としている。当初は昨年度の実績で積算したが、事業が浸透している

産業建設

委員会

酒元法子（委員長）

小路政敏（副委員長）

河田信彰・志幸松栄

山岸昭夫・鶴野幸一郎

9月6日に委員会を開催し付託された議案5件を審議し、原案のとおり可決すべきものとした。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

〔問〕地盤調査の内容は。

〔答〕ボーリングやサウンドニングなどで土壌の強度調査を行なうもの。

〔問〕緊急雇用創出事業の畜犬登録確認作業の内容。

〔答〕犬の登録数と狂犬病予防接種を受けている犬の数に差がありその実態調査を行なう。事業費は県の支出金で賄われる。

〔問〕緊急雇用創出事業の畜犬登録確認作業の内容。

〔答〕犬の登録数と狂犬病予防接種を受けている犬の数に差がありその実態調査を行なう。事業費は県の支出金で賄われる。

〔問〕緊急雇用創出事業の畜犬登録確認作業の内容。

〔答〕犬の登録数と狂犬病予防接種を受けている犬の数に差がありその実態調査を行なう。事業費は県の支出金で賄われる。

●鮭尾地区宮農飲雑用水整備事業

〔問〕全体事業費は。

〔答〕事業費は約2億6700万円、事業費の補助率は55%である。

●水道事業会計補正予算

〔問〕渇水対策の仮設費用について説明せよ。

〔答〕管工事組合と建設業協会に協力していただき、管のリース代、作業員の人件費などで1613万円である。

●水道事業の有収率

〔問〕能登町の有収率は。

〔答〕旧能登町で約51%、旧内浦町で78%、旧柳田村で約67%。全体で約63%である。

7月から9月の主な議会活動

7月6日	流山市議会議員表敬訪問（7日まで）
7月9日	県道柳田里線整備促進期成同盟会総会
7月11日	第64回県民体育大会能登町選手結団式
7月15日	寄り道パーキング春蘭の里完成を祝う会
7月18日	全員協議会
7月23日	能登総合開発促進協議会
7月24日	議長・副議長・委員長研修会
7月26日	石川県戦没者慰霊式
7月27日	丹蔵関十両昇進表敬訪問
7月28日	石川県消防操法大会
7月29日	能輝村開村式
7月31日	能奥郷友会通常総会
8月1日	能登空港の機能強化に係る要望
8月6日	里山マイスター育成ふさと未来塾開講
8月8日	議会運営委員会
8月9日	議員・監査委員合同研修会
8月11日	石川県民体育大会 まほろば成人式 山田地区戦没者追悼法要
8月19日	新幹線起工式・建設促進県民会議総会
8月23日	相馬市議会行政視察
8月24日	のと鉄道利用促進協議会総会
8月27日	議会運営委員会
8月28日	能都中学校落成式
8月28日	子ども議会
9月6日	第3回定例会（14日まで）
9月17日	近藤和也国政報告会
9月23日	猿鬼歩こう走ろう健康大会
9月24日	石川県町村議会議長会
	※各地区敬老会

次の定例会は12月です

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしていますので、ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

金木犀の香りに、ふと足を止めてあたりをさがす秋……。渇水の夏を越えていつもと同じ秋を迎えることに感謝する。

子供達の歓声に、ふと足を止めて無邪気な笑顔に出会い、心が和む。

この子供達にどんな能登を手渡してやるのか、大きな課題が今、私たちに課せられている。

爽やかな秋空の下、新しい一步を踏み出さなければならぬ。

委員 鍛冶谷眞一

広報編集 特別委員会

委員 長國盛 孝昭
副委員長 金七祐太郎
委員 市濱 等
小路 政敏
山岸 昭夫
鍛冶谷眞一